

島マス 沖縄の社会事業家。地上戦の悲劇とアメリカ占領下、戦争未亡人を皮切りに、福祉問題に後半生を捧げた。

しまます
1900 = 沖縄県美里村字伊波で、伊波松・カナの末子三女に生まれる。

貧窮のなか、家の手伝いしながら育ち、
日露戦争終・1905 = 5歳 :

韓国反日暴動1907 = 7歳 : 伊波尋常小学校に入学。この年、唯一の兄がハワイへ出稼ぎ移民。

伊藤博文暗殺1909 = 9歳 :

明治天皇没・1912 = 12歳 : 卒業し、美里尋常高等小学校へ進学、毎日6kmの道を往復して通学。

21ヶ条要求・1915 = 15歳 : 沖縄県女子師範学校本科一部に入学し、寮生活。

本格政党内閣1918 = 18歳 :

山田村長就任・1919 = 19歳 : 卒業。郷里の山田尋常高等小学校訓導となり、以後、教職活動続ける。恩納村婦人会長に選任される。

原敬首相暗殺1921 = 21歳 : 伊波尋常高等小学校訓導に転任。具志川尋常高等小学校教師の島有剛と結婚、

水平社結成・1922 = 22歳 : 長女を出産。

以後、5男2女を生み育てる。

日本時代始・1926 = 26歳 : 長女が髄膜炎で死去。

金融恐慌・1927 = 27歳 :

世界恐慌・1929 = 29歳 : 越来尋常高等小学校訓導に転任し、越来村女子青年学校教諭兼務。越来村に転居し、越来村婦人会長。

満州事変・1931 = 31歳 :

二二六事件・1936 = 36歳 :

日中戦争始・1937 = 37歳 :

大政翼賛会・1940 = 40歳 : 喜舎場尋常高等小学校訓導に転任し、喜舎場女子青年学校教諭兼務。

日米開戦・1941 = 41歳 :

敗戦・1945 = 45歳 : 一家で北部の村へ疎開。地上戦で長男・次女を失う。敗戦でアメリカ占領軍の難民収容所に収容され、所内の幼稚園と小学校高等科の教師に指名される。

新憲法公布・1946 = 47歳 : 郷里へ帰還し、母・姉と再会。石川市大洋初等学校教員に就任。婦人会をつくろうと全県的動き高まり、

極東裁判判決・1948 = 48歳 : *29年続けてきた教育の場を離れ、夫の本籍地越来村に帰郷。そこで戦争未亡人となった母子家庭の悲惨な生活に胸を痛め、自ら地域の婦人会長を引き受け、母子家庭を1軒ずつ訪ね相談活動を行う。同年、米軍政府公衆衛生局の越来村駐在厚生員となり、以後、母子家庭と非行児のための社会福祉活動を続ける。

朝鮮戦争始・1950 = 50歳 : 民政府移管に伴い、社会事業課事務官補となり、日本社会事業大学第一回研修生として派遣留学。

独立回復・1951 = 51歳 : 児童福祉司の資格得て、コザ警察署の米軍裁判における児童取扱指導員となり、我が家へ帰ることを拒む児童を自らの家に引き取り育てる。夫と実子4人で児童保護所の建設に取り組み、

メデー事件・1952 = 52歳 : 新制度発足で、社会福祉司となり、発足した琉球政府民生課所屬。民間初のコザ児童保護所を設立する。

TV放送始・1953 = 53歳 : 女子非行児のための{コザ女子ホーム}を設立。コザ中学校PTA副会長。文部省主催の社会教育指導者協議会への戦後初の派遣団の一員となり、来日中のニクソン大統領に会って、日本復帰を要請。

自衛隊発足・1954 = 54歳 : 中央児童相談所設置に伴い、コザ児童保護所を廃止となり、{コザ女子ホーム}も政府へ移管、

55年体制始・1955 = 55歳 : 沖縄実務学園女子部教諭となり、

国連加盟・1956 = 56歳 : 再編に伴って、中央児童相談所相談員、

なべ底不況・1957 = 57歳 : 9年続けて来た公務員を退職し、中部地区社会福祉協議会専任職員となり、

イヌシマ・1958 = 58歳 : *コザ市中部地区社会福祉協議会会長(中社協)に就任する。全社協・厚生省の国際研究会に日本代表として参加。沖縄婦人連合会より表彰。以後、中社協の諸活動指導して、"島学校"と呼ばれるようになり、

安保闘争・1960 = 60歳 :

タイタイ病始・1961 = 61歳 : 全琉社会福祉大会で表彰。

全国総合計画1962 = 62歳 : 沖縄PTA連合会より表彰など、以後、連年のように、各団体から表彰受ける。

TV宇宙中継始1963 = 63歳 : 市町村老人クラブ結成指導に奔走。

いざなぎ景気1966 = 66歳 : 統合によって、沖社協中部地区事務所長となるも、退職し、新設の中部地区福祉対策委員会副委員長。

美濃部都知事1967 = 67歳 : 中部地区老人福祉センター建設に向けた募金活動始める。沖縄タイムズ大賞。

霞ヶ関ビル・1968 = 68歳 : 中部地区老人福祉センター建設期成会長。行政主席より保護司に任命。

大共闘・1969 = 69歳 : 琉球高等裁判所より家事調停委員に任命。

大阪万博・1970 = 70歳 : 日本首相より勲六等宝冠章。中部地区婦人福祉の会を結成し、会長。コザ市遺族連合会会長。

ドルショック・1971 = 71歳 : 中部地区更生保護婦人会を結成し、会長。

日中国交回復1972 = 72歳 : カトリック教会で受洗。沖縄の本土復帰によって、

石油ショック1973 = 73歳 : *コザ市赤十字奉仕団初代委員長、中部地区老人クラブ副会長、県更生保護婦人会連盟初代会長。

田中角栄逮捕1976 = 76歳 : 社会福祉法人こばと理事長。

成田衝突・1978 = 78歳 : 法務大臣より感謝状。

革新大敗北・1979 = 79歳 : 琉球新報社から琉球新報賞。県功労賞。

以後、連年のように、各団体から感謝状・表彰を受けるうち、

.....1981 = 81歳 :

リクルート事件・1988 = 88歳 : 31年社会福祉事業に取り組み続けて、没した。

インターネット「島マス人物伝」ほか、